

本校の地域連携・地域交流

西桂町立西桂中学校

1. 目的と経緯

本校は、町に一つの中学校として地域住民に見守られ、共に歩む教育を大切にしてきました。「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた地域連携・交流に加えて、生徒が地域課題の解決に参画し、地域の一員としての自覚を持てるよう取組を行っている。地域の人的・自然的資源を活かし、生徒が郷土を愛し、主体的に地域に関わろうとする態度の育成と、地域社会との相互作用を通じて、郷土愛を育むことを目的としている。

2. 内容

① 防災訓練

毎年8月末に実施される町総合防災訓練に全校生徒が訓練の一環として参加している。生徒は各自宅から地域の避難所へ避難し、消防団の指導のもと、放水・消火訓練や救助体験等を行っている。地域の一員として「自分たちの町は自分たちで守る」という高い意識を持つことができる。



② 歩け歩け運動

従来の強歩大会を町の行事である三ツ峠歩け歩け運動に統合し、全校生徒で参加している。新庁舎建設時には植林体験もさせていただいた。地域の方との交流を深めるとともに、町の自然や産業に直接触れることで、郷土への理解と愛着を深める貴重な機会となっている。



③ 三ツ峠八十八大師に供える前掛けの製作

高齢化に伴い製作が困難になりつつある地域の現状を受け、教育委員会からの依頼を機に2年生の家庭科の授業の中で製作している。地域社会の一員としてふるさとを支える心を育むことを目的としている。寄贈した前掛けは、文化財保護審議会の皆様が奉納してくださっている。生徒は「地域に貢献できて嬉しい」という感想を持ち、郷土を愛する心が育まれる大きな成果を得ることができている。



3. 成果と課題

地域との連携・交流は、生徒の地域社会を支える一員としての自覚と深い郷土愛の育成につながっている。今後は、学校運営協議会と連携し、「地域とともにある学校」を目指すとともに、生徒が豊かな学びの機会を持てるような教育活動を行っていきたい。